

Public Area of CFK
PERCH
パーチ!



ふらっと立ち寄れる、「止まり木」のような空間に。ウォーカブルなまちなかを民間敷地から実践。

◆ 取組のきっかけ、取組への想い

CFK東京本社の位置する半蔵門・麴町エリア

半蔵門・麴町エリアには教育施設、公共施設、業務施設が集積しており、昼夜を通して多様な人々が行き交っています。しかし、周辺には公園や広場といった、ふらっと立ち寄れる公共空間がありません。そのため、会社の前では、子どもを送迎する親たちが交差点の角で立ち話したり、営業マンが立ちながら自転車の荷台にパソコンを載せて作業をしたりしていました。

居心地がよく歩きたくなるまちなか

近年、都市の魅力を向上させ、まちなかににぎわいを創出するため、「居心地が良く歩きたくなる」(ウォーカブルな)空間を生み出す取組みは、我が国の重要な施策として全国的な広がりをみせており、道路空間をはじめとした公共空間の拡大・質の向上につながる取組が進められています。しかし、その推進において、道路幅員に余裕がない地区では、空間の確保が課題となります。沿道の民地と一体的な空間確保を行うことで課題への対応を図ることが可能となると考えられます。

「パーチ!」とは?

東京本社周辺の状況やウォーカブルなまちなか創出の課題を受け、私たちは「東京本社の空き空間をウォーカブルなまちなか創出につながる公共的な空間として利用してもらうケーススタディをしよう」というアイデアから、「パーチ!」という名前の場所を作りました。この「パーチ! (Perch)」は、英語で止まり木を意味します。鳥が木に止まって羽を休めるように、どなたでも自由に立ち寄れる場所にしたいという思いから、「パーチ!」と名付けました。

◆ 取組の内容

利用のルール: できること看板

「パーチ!」は、誰でもふらっと立ち寄れる場所である一方、CFKの敷地です。そのため、私たちが想定する方法以外で使用されてしまうと、「パーチ!」の取組を辞めざるを得ないことを懸念しました。そうはならないように、でも禁止事項ばかりの看板にはしたくない、そういう思いを込めて「できること看板」をつくりました。

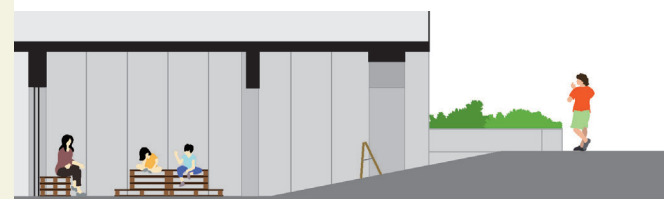
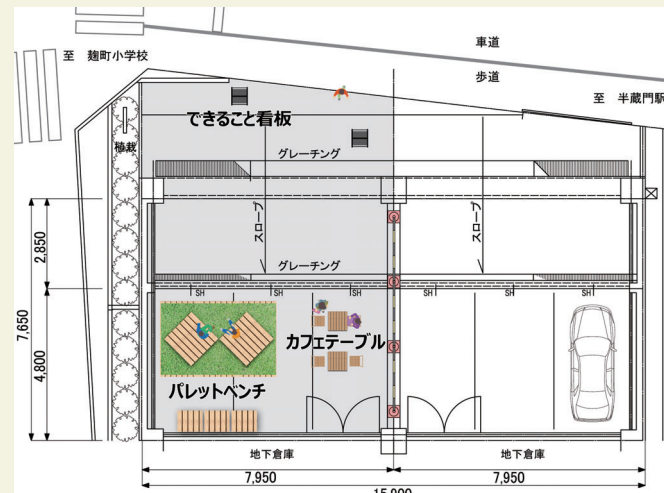
上記に記載の事項以外での使用は禁止です

できることだらけに見えて、OK!の内容以外は禁止という面白い仕掛けになっています



場のしつらえ: 半地下を生かした滞留スポット

「パーチ!」では、大人も子どもも滞留できるよう、3種の異なる滞留スポットを設置し、利用の形態にあわせて自分の好きな場所を選べるようにしています。また、半地下のため外からは様子が見えませんが、中の滞留スポットに入ると道路からの視線をあまり気にせず自由に使えます。



◆ パーチの取組の広がり

取組の体制

事業創生G	企画・運営	須賀主任・戸谷職員
	アドバイザー	南部統括・和田TL
東京本社	運営サポート	榎本主任、磯山SL、望月職員、屋代職員
	支援・協力	澤野本社長、稲田室長、小川職員



「寄り道ノート」への書き込み例

- ・チョークでおえかきました
- ・近くのパン屋さんで買ったパンを食べながらお花見させてもらいました
- ・椅子に座りながらパン屋さんのサンドイッチを食べました! 桜がすぐ近くにあるのでお花見できてよかったです!
- ・雨宿りに使いました。木のおいがして気持ちよかったです!



◆ これまでを振り返って

パーチ!は、自分達で課題を設定し、自分達の手で創り、実現してきました。そして、地域の方に喜んで利用いただき、地域とつながりをもてたことが、何よりの成果だと感じています。若手などということは関係なく、CFK独自のプロジェクトとして取組を承認し、見守っていただきありがたい限りです。

今後も地域の皆さんにとって望ましい空間となっていくよう、難しいことにも積極的に試していきたいと考えています。また、パーチ!を通じて公共空間の維持管理方法や事業性についての知見を蓄積していくとともに、「自社だからできた」ではなく、他の場所にも展開できる手法も検討していきたいと考えています。



須賀 佑実子 SUGA Yumiko 計画系部門 事業創生グループ
戸谷 百萌 TOYA Momoe 計画系部門 事業創生グループ

2023

10月 企画〜起案

- ・企画の趣旨と東京本社のスペースを活用したい旨を澤野本社長・総務室に相談し、東京本社としての了承をいただく。
- ・常務会に起案し、社会実験の実施について会社としての了承をいただく。

11月 東京本社にて社内説明会を実施

- ・本来の用途である駐車場の利用に支障がないか、会社の関係者以外が敷地内に立ち入る上での懸念点はないかなど、東京本社の社員の声を聞く機会を設ける。

反対されることもあるだろう、と思っていましたが、かなり興味をもっていました。否定する、というよりも、課題に対して対策のアイデアまで意見をいただき、「やっぱりコンサルタントだな」と感じました。

2024

1月 社会実験準備

- ・社会実験に向けて、空間の設えや利用ルール、維持管理方法、駐車場との使い分け、利用状況の検証方法などについて、取組体制のみんなと一緒に考えながら準備を進める。

3月 いよいよ社会実験スタート!

- ・向かい側のオフィスビルや沿道には桜の木が植えられていることから、お花見シーズンに合わせてまずは1ヶ月程度を目標に実験を開始する。

企画から全て自分達だけで行うことが初めてだったため、空間を利用してもらえるか心配していましたが、開始直後からじわじわと浸透していきました。

- ・空間の使われ方や利用の様子を検証するために、感想ノートやチョークを設置する。

ノートや地面にはたくさんの書き込みがあり、偶然見かけた、時間があつた、雨宿りした、ふらっと立ち寄ってみた、放課後に遊びに来たなど、色々な用途で使われていることが分かりました。

4月 継続決定!

- ・問題なく運営できており、何より地域の方に喜んでもらえていることから、社会実験を継続する。

最近では、隣の小学生の遊び場にもなってきて、子ども達だけでなく見守りボランティアの方など、地域の皆さんと挨拶する機会も増えてきました。

6月 地域団体からの声掛け

- ・地域団体から申し入れがあり、休日にイベントでの占用利用を許可する。

道路から見える、屋根付きのため天候に左右されないといった、空間の特性をかっていただきました。イベント当日は、ふらっと当日参加した方もいたようで、気軽に参加できる場所であることが非常によかったとの声をもらえました。

- ・パーチ!を通じて引き続き知見を蓄積するとともに、他の場所への展開手法を検討していく。